

【1日目】

今年2度目の尾瀬。春は鳩待峠から尾瀬ヶ原散策だけだったが今回は尾瀬沼散策と燧ヶ岳だ。大清水から入る。平日のためか駐車場は空いていた。歩き始めは寒かったが少し経つと歩くのに丁度良い気温となる。紅葉を愛でながら峠道を登っていたら 道半ばで雨が落ちてきた。

天気予報は「曇り、3時から晴れ」予報だったのできつと一時的な雨だろうと思っていたが、青空が見えたと思って安堵していると又降ってくるといった繰り返しのまま長蔵小屋に着いてしまった。

尾瀬沼の散策中も青空が見え隠れしながら雨が降ると言った繰り返しで、とうとう、お日様を拝めずに終わった。

尾瀬小屋は築84年で外観は古い木造校舎みたいだ。ところが中はまるで旅館のようで各部屋は畳敷き、床の間付、出窓付、廊下は障子で仕切られ、有難くもこたつが用意されていた。紙は流せず回収だがトイレはウオシュレット。お風呂に浸かれたのも有難かった。

【2日目】

朝、5:10 出発。天気は晴れ。星も見える。木道の上に降りた霜に、ヘッドランプの明かりが反射してキラキラ光り美しい。が、つるつるで怖い。足元を照らす明かりばかりを見つめて慎重に歩いていると、「あ！山が白い」の声に一同凍りつく。見上げると山が真っ白である！まさかまさかの雪景色であった。

樹林帯に入ると笹の葉の上には雪が積もり 木の枝には霧氷がえびの尻尾のようにになっている。岩からは長いツララまで伸びている。取りあえず行かれるところまで行って見ようか・・・

もともとぬかるみの多い登山道が益々ぬかるんでぐちゃぐちゃ。滑って歩きにくい。5合目までは比較的緩やかな登りであったが 6合目から一気に急登になり、ミノブチ岳からは岩場の連続となる。ミノブチ岳からは尾瀬沼が一望の元に見え美しさに感動する。

第1ピークの^{まないたぐら}俎板櫓～2ピークの^{しばやすぐら}柴安櫓へは下りの登り返しになっており、雪のついた岩場を慎重に下る。山頂の柴安櫓からは 草紅葉の尾瀬ヶ原が眼下に広がり、遠望に富士山、眼前に至仏山がそびえ立つ。木々に着いた雪がまるで桜が満開になったようにも見え、紅葉と雪景色とを同時に見る、なんとも素晴らしく美しい不思議な光景だ。山頂は風が強くなり早々に下山開始する。俎板櫓まで戻り軽く捕食をしていると、長蔵小屋で一緒だった20名くらいの団体が登ってくるのが見える。今日は燧ヶ岳越えで下山後第2長蔵小屋に宿泊すると言っていた。ミノブチ岳まで下りてくると日差しが暖かい。登山道の雪も解けてきて 心配したほどの事も無く ほぼ予定通り下山。

長蔵小屋横では今年最後のヘリの荷揚げが行われていた。ビジターセンターを建て替えるとのことで、大型ヘリが何回も荷物を降ろしに来て、その風圧で枯葉が渦を巻いて飛んできた。

一之瀬から大清水まで運行している低公害車に乗り、大清水着 15:40、無事、山行を終えた。